

令和5年度熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会「第2回理事会」議事要旨

会場 県民総合運動公園陸上競技場 1階 102 会議室
方法 来場とオンラインのハイブリッド開催
日時 令和5年11月13日(月)午後6時~午後7時45分
出席者 山口 清、山中清志、橋垣真美、川口和子、三角陽司、丸山隆行、山下泰司、蓑田敏郎、
有働秀樹、松田直浩 (来場 10人)
梶田航平 (オンライン 1人) 太田黒尚子、野島弘宣 (事務局 2人)

1 開会 2 あいさつ 3 議長選出 4 報告

(1) 追加加入クラブについて (P1)

・年度途中であるが、全国登録の関係で JKA トレジャークラブ (芦北町) が加入した旨報告。

(2) 株式会社イトメンとの連携について (P2)

・夏期イトメンの売上について報告。217,400円 (SCS 収入分)

(3) 特別経営セミナーの開催について (P3~4)

・草野宏隆税理士によるセミナーを実施した旨報告。参加者 22人。

(4) 県民スポーツの日「ふれあいスポーツ」について (P5~7)

・今年度は、総合型クラブの事業をサポート形で実施した旨説明。

・フネッピーすこやかスポーツクラブの協力により「御船パラスポーツ等体験会」を実施。

・開催にあたり、県教育委員会のポスターに掲載され、イベントを周知してもらった旨説明。

(5) SCS 研修会について (P8)

・橋垣理事から説明。北ブロックが主管となり 12月16日(土)に研修会を開催する旨説明。

5 議事

(1) 令和6年度事業計画及び予算について (P9~13)

・次年度に向けての意見聴取。

—意見—

三角) スポーツの日は国民のスポーツ振興。小コミュニティが原点。各地に総合型クラブがあるので、10月9日に地域でのスポーツイベントをするようにすることがいいのではないかと。県は広報・周知を図る。

ブロック別研修会の準備にエネルギーを使っている。見直しが必要だと思う。常任委員で運営できるコンパクトな運営を考えてもいいのではないかと。テーマを決めて実施していくとよい。

太田黒) 以前は、研修会⇒交流会⇒休みのローテーションで、ブロック別に担当を回していた。

コロナ禍になりオンラインも増えてきたが、集合で実施したいという声も多い。

三角) 事務局機能も来年度、太田黒さんをお願いできるのか? メンバーも含めて検討の余地はあり。

橋垣) 事務局体制の整備にはお金の問題もかかってくる。人件費や交通費があるので、協議会でのどうしたいのか意向を固めることが大切ではないかと。金額の捻出があって、そこに合わせてやっていくことが必要。

三角) 評議員会で人件費を含めた事務局費用を説明し、受託する人あるいはクラブがあるか、費用負担について年会費を上げる必要性もあることを提案して体制を変えて、事業のスリム化を図っていくことがいいのではないかと。

丸山) ブロック別事業費用はどのように活用しているのか。

橋垣) 北ブロックでは、交流会の経費として施設使用料、講師謝金、会議費に使っている。

(2) 令和6・7年度役員改選について (P14~15)

川口) 各ブロックの理事数を同一の人数にする必要はないのではないか。

ブロックの実態に応じて、数も含めて選出することでいいのではないか。

(3) 本協議会事務局及び運営体制について (P16)

山口) 事務局員の雇用はせず、企画広報などを理事会に担ってもらう形が提案の内容という理解でいいか。

山中) 理事メンバーを部会に分けてやるといいのではないかと。必然的にエリア制がやりやすく今の形ということになるだろうが。

川口) 事務局の仕事を理事に割り振って分担すれば事務局負担を減らせるのではないかと。事務局から理事に何をしてほしいかを具体的に提示した方がいい。

—意見の結果—

- ・ 次回の会議に向けて、事務局の業務を提示し、理事会で分担いただく内容を具体的に提示する。
- ・ 事業のスリム化を目指しつつ、協議会加入クラブが求めることやすべきことを見直し、事業の効率化と効果をもっと考えていく。

6 その他

(1) 令和5年度登録クラブについて (P17~18)

- ・ 令和5年度登録クラブの紹介。

(2) 熊本県公立中学校における休日の運動部活動の地域移行推進計画について (別紙)

- ・ 有働理事から中学校部活動の週末移行に係る現状について情報提供。

7 閉会

